

ひなまつりについて知ろう

2月27日 (火)

<きょうのこんだて>

- ・ちらしずし
- ・すましじる
- ・鯖のしおやき
- ・なのはなあえ
- ・ぎゅうにゅう



ひなまつりは、女の子の健やかな成長を祈る節句です。その歴史は古く、平安時代には人のわざわいを紙で作った人形にうつし、川へまる流す「流しびな」の習わしがありました。

江戸時代には、今のようなひな人形をかざる

形になりました。お祝いのしかたは、時代とともに少しずつ変わってきましたが、子どもたちの健やかな成長を願う行事として今も受け継がれています。

〇ちらしずし

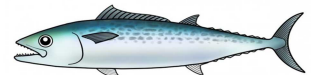
ちらしずしの材料は、お祝いの意味が込められています。錦糸卵や桃色のはんぺんは様々な花に彩られる春の野山に見立てています。春のおとずれと喜びを感じさせる料理です。



〇鯖の塩焼き・菜の花あえ

鯖は、春に産卵のために沿岸へやってきます。その光景に人々が春の訪れ感じていたので「春を告げる魚」といわれるようになりました。

付け合わせの和え物には、今の時期しか食べられない菜の花を使いました。ほのかな甘みと、苦みがありますが、栄養をたくさん含んだ野菜です。



春の訪れを感じさせる献立をおいしくいただきます。